

富山県防災危機管理センター

センターの特徴

中間免震構造

- ・免震構造の採用により、通常よりも高い耐震性を確保
- ・浸水想定高さ5mよりも上部に免震装置を設置することにより耐浸水性を確保

ライフラインの自立・代替

- ・停電や給排水途絶時にも、施設運営に必要なライフライン(電気、給排水)の3日間(72時間)以上の自立機能、代替機能を確保

映像情報システムの導入

- ・各種防災システムの情報や現地の被災映像などをリアルタイムで収集し、災害対策本部室の60型10面マルチディスプレイ等に表示するほか、関係機関へ配信を行う映像情報システムを導入

研修室のご案内 ※詳細は県ホームページをご覧ください

開館時間

開館時間：平日9時～17時
 ※閉館日：土日、祝日、12/29～1/3

注意事項

- ・防災や危機管理に役立つ利用と認められた場合は無料となります。
- ・附属設備を利用される場合は、別途費用が掛かります。
- ・部屋によって利用できる附属設備が異なります。

研修室使用料

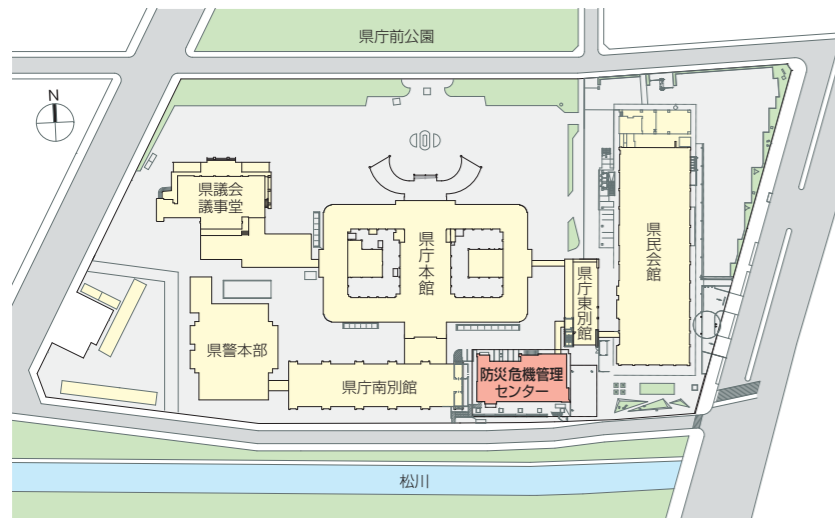
| フロア | 室名 | 面積(m ²) | 定員(人) | 午前 [9時-12時] | 午後 [13時-17時] | 終日 [9時-17時] |
|-----|---------|---------------------|-------|----------------|-----------------|----------------|
| 5F | 小会議室 | 71 | 10 | 6,700円 | 8,000円 | 11,500円 |
| | 研修室 5-A | 128 | 40 | 12,000円 | 14,400円 | 20,700円 |
| | 研修室 5-B | 106 | 36 | 9,900円 | 11,900円 | 17,100円 |
| | 研修室 5-C | 103 | 32 | 9,600円 | 11,600円 | 16,600円 |
| 3F | 研修室 3-A | 126 | 34 | 11,800円 | 14,200円 | 20,300円 |
| | 研修室 3-B | 129 | 42 | 12,000円 | 14,500円 | 20,800円 |
| | 研修室 3-C | 111 | 32 | 10,400円 | 12,500円 | 17,900円 |
| | 研修室 3-D | 59 | 16 | 5,500円 | 6,700円 | 9,500円 |
| | 研修室 3-E | 51 | 13 | 4,800円 | 5,800円 | 8,300円 |
| | 研修室 3-F | 55 | 22 | 5,200円 | 6,200円 | 8,900円 |
| | 研修室 3-G | 55 | 18 | 5,200円 | 6,200円 | 8,900円 |
| | 研修室 3-H | 48 | 17 | 4,500円 | 5,400円 | 7,800円 |
| 2F | 中会議室 | 177 | 44 | 16,500円 | 19,900円 | 28,500円 |

附属設備

- ・DVD/BDプレーヤー(ディスプレイ付)
- ・プロジェクター(映像・音声分配器付)
- ・スクリーン
- ・拡声装置(有線マイク1本付)
- ・ワイヤレスマイクロフォン

※次の研修室は、可動間仕切を開放することにより、一体的に利用が可能です。
 ① 研修室 3-A～C、② 研修室 3-E～H、③ 研修室 5-B、C

県庁敷地の配置図



富山県HP
<https://www.pref.toyama.jp/1900/20221011.html>

お問い合わせ

富山県危機管理局防災・危機管理課
 (防災危機管理センター4階)
 電話：076-444-9671
 E-mail：abosaikikikanri01@pref.toyama.lg.jp



構造 鉄骨造・一部鉄筋コンクリート造
 中間免震構造、地上10階建
 建築面積 約 1,393m²
 延床面積 約 10,465m²
 整備費用 約 64億円
 (システム 整備費等は含まない。)

富山県の防災、危機管理の中核施設

防災危機管理センターは、県民の生命・身体・財産を守るべく、災害等の非常時に迅速かつ的確に対応できるよう、常設の災害対策本部室や防災関係機関が活動する受援のためのスペースを備えた、本県の防災、危機管理の中核機能を有する拠点施設です。



5階 大会議室（災害対策本部員会議室）

本部長（知事）、副本部長（副知事）、本部員（部局長等）及び関係機関等が応急対策等を協議し、対応方針を決定する場。

部屋の広さ 約247㎡
収容可能人数 約90人

4階 オペレーションルーム（災害対策本部室）

県職員や防災関係機関が、被災状況の情報収集や対策立案に必要な調整を行う場。広域応援部隊等の受援調整会議の場としても活用。

部屋の広さ 約379㎡
収容可能人数 約110人



3・5階 研修室（関係機関執務室）

災害時には、国や自衛隊、警察、消防、DMAT等の関係機関が応急対策業務等を行う場。平常時には、自主防災組織等の研修の場として活用。

部屋の広さ 約48～129㎡
収容可能人数 約10～40人

〔可動間仕切を開放した場合〕
〔最大 約366㎡〕
〔最大 約110人〕



2階 中会議室（プレスルーム）

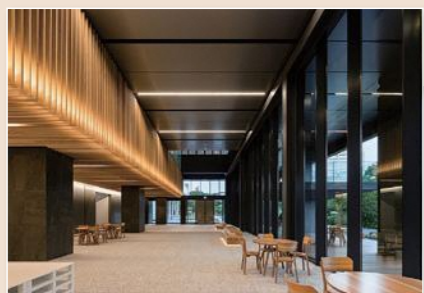
災害時には、報道機関に被災状況や災害対応などを定期的に記者会見し、情報を発信する場。平常時には、自主防災組織等の研修の場として活用。

部屋の広さ 約177㎡
収容可能人数 約40人

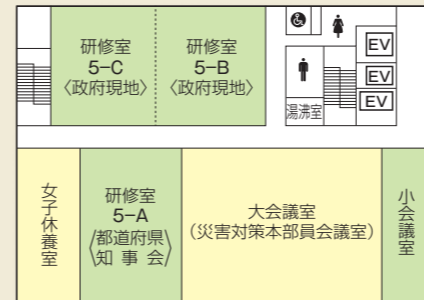


1階 交流・展示ホール

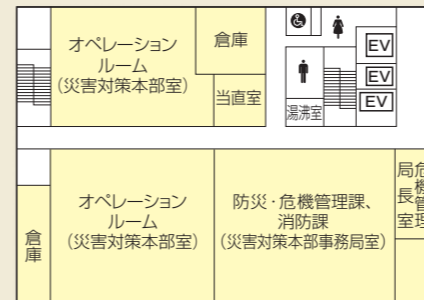
県民の皆さんが気軽に立ち寄ることができる憩いの場とするほか、防災ワークショップの開催など、地域防災力の向上を図る場。また、来庁者に対し、防災意識の啓発を図るため映像やパネル等を展示。



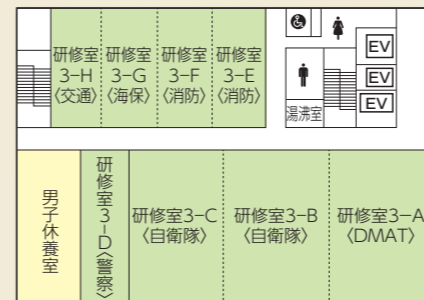
フロア案内図



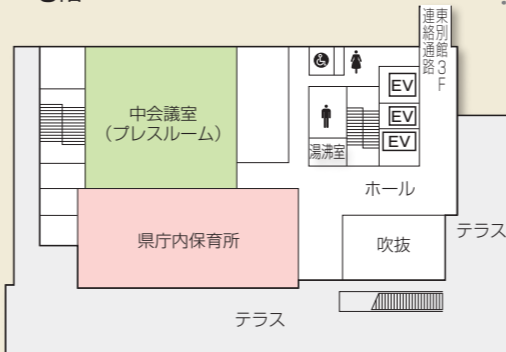
5階



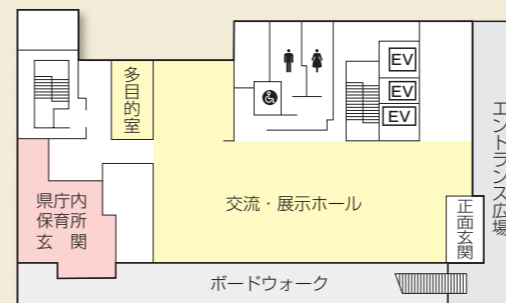
4階



3階

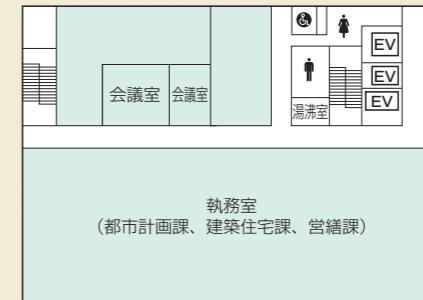


2階

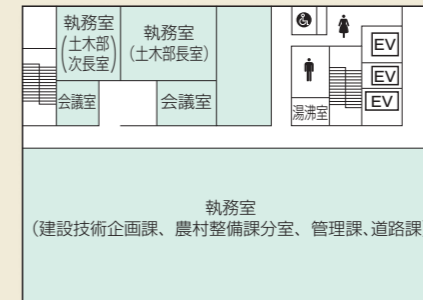


1階

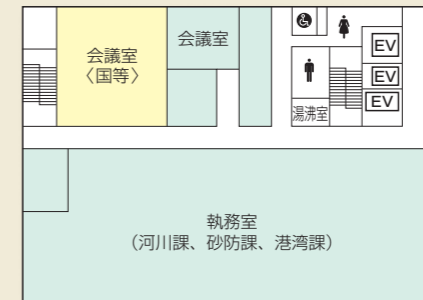
- 研修室エリア
 - 防災危機管理エリア
 - 執務室エリア
 - 県庁内保育所エリア
- ※研修室は災害時に〈 〉内の関係機関の連絡員等が使用することを想定



8階



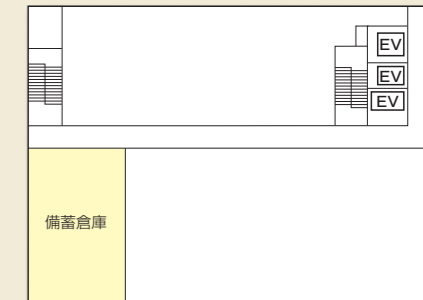
7階



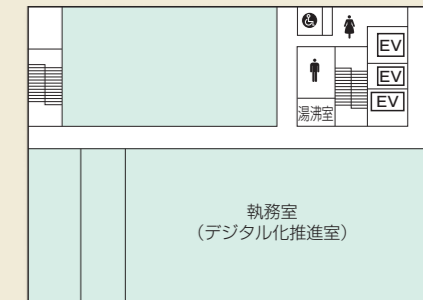
6階



屋上階



10階



9階

建物断面図

